

〈テーマ〉 多様な考えから共通点を見出し、ねらいにせまる取組（東松島市立大塩小学校）

【ねらいと特色】

児童は、前時まで、分母と分子に同じ数をかけたりわったりして同じ大きさの分数を作ることを学んできている。この考えを基に、本時は、いくつかの分数を通分するには、分母の最小公倍数を見つけて計算すれば簡単な（分母が小さい）分数に直すことができるという数理的な処理のよさに気付かせるものである。本時は、解決の見通しを持たせた後、前時の学習に加えて、線分図や面積図も用いて、 $\frac{3}{4}$ と $\frac{4}{5}$ の大きさを比べる活動を行った。集団解決では、ペア学習で互いの考え方の交流を行った後、全体での話し合いへとつなげた。4つの考え方を提示し、線分図や面積図を用いた解決方法と計算による解決方法を比べる学習を通して、「20」という数が共通していることに気付かせた。児童は、この「20」という数が4と5の最小公倍数であることに気付いた時、通分のよりよい処理の仕方（それぞれの分母の最小公倍数にすれば、簡単な分数で通分できるということ）を理解することができた。課題としては、本時で扱う数字の吟味が必要であった。本時の問題は単位分数が $\frac{1}{20}$ だったので、図は事前に用意し自力解決の際に与えたが、もう少し数が小さい単位分数にすれば、図を与えなくてもノートに自力で書かせることができたように思う。

【実践の概要】

